

想 心

SOU

JR九州病院 広報誌

「そう」

2008年 秋
Vol.10

目次／Contents

P1 JR九州病院をよりよき病院とするために
～整形外科 岡本安弘部長～

P2 特集 オーダリングシステム稼働

P3 インフォメーション・病院からのお知らせ



vol.10

JR九州病院

JR九州病院を
よりよき病院とするために

岡本 安弘

JR九州病院 整形外科部長



私はこの病院に平成8年に赴任してきました。そして、この地の人々から學術書では知り得ない様々なことを学ばせてもらいました。医師の成長には、知識面、経験面、またそれに裏打ちされた技術面という要素が不可欠なことは言うまでもありませんが、一番大事なのは、その土地やそこに住む住民への愛着ではないかと思っています。私は、この地の人々たちにもこのJR病院にも愛着を持つとともに育ててもらったと感謝していますし、これからもこの病院が必要とされる病院であって欲しいと願っています。そのために耳障りかも知れませんがいくつかの提言をさせていただきます。

はじめに病院とは何でしょうか？

人は病院のない地域には住みたくないといひます。

私が思うに、それは電気、水道、ガスと同じく重要で必須のライフラインであると考えています。と同時に、医療関係者と地域の住民が力を合わせ作り上げ、守っていくものと思っています。しかし、報道等でご存じの方も多と思いますが、地方では病院閉鎖が相次いでおり、患者さんたちが路頭に迷うという事態が生じています。この門司地区も例外ではなく一時期取りざたされた門司労災（現九州労災門司メディカルセンター）の統廃合や、市立門司病院の民間委譲など地域の基幹病院は絶えず危機にさらされています。このような難局を乗り越えるには地域から真に必要なとされ信頼される地域の財産とも言うべき病院でないと存続すら難しい時代となりました。JR九州病院も例外ではありません。では、地域の財産といわれるような病院はどんなもので、どのようにしてらできるのでしょうか。

その前に3点お話をさせていただきます。

1. 医療の実情

医療はここ10年で大きく様変わりしました。技術の進歩は診断や治療の精度を向上させ、手術器具の進歩はひと昔前までは不可能であった手術を可能にできています。新薬は不治の病と言われた疾患にも治療の道を開きました。しかし、これらは一部に過ぎません。最近のマスコミのスーパードクターなどの特集は医療には不可能がないような幻想を抱かせますが依然として医療に限界があるのも事実です。我々は全力を尽くし治療に当たりますが、不可避のことや患者さんのそばで見守るしかない場面も存在することも理解して欲しいと思っています。もう一つ知っておいて欲しいのは、現状では7割超の公的病院が赤字経営であるということです。これはどういうことかと

言いますと放っておけばどんどん病院がつぶれるということです。ではなぜ赤字になるのでしょうか？第一には、医療の進歩に伴い最新の設備を導入しなければ患者さんたちのニーズに応えられないため設備投資が多額になること、第二に人相手の仕事なので人件費が節約できないこと、第三に経営を裏打ちする保険収入が安すぎるということです。赤字になると最初に切り詰められものは人件費です。人を雇いたくても雇えないということです。日本の医療機関はこのため医療関係者は過重労働の状況です。当院も外見は良くなりましたが、現状では他の公的病院と同様厳しい経営状況であり、その中でスタッフたちは自己犠牲の下、献身的に患者さんたちのケアにあたっていることも御理解下されれば幸いです。

2. 治療を受けるということ

“天は自ら助くる者を助く”という言葉の通り、医療は本人の良くなりたという強い気持ちがある前提でしかその効能を発揮できません。治療を行う上で、我慢を要求される場面が多々あります。そして時には有害事象を含む数々のリスクと面と向かわねばなりません。要するに本人の覚悟が要求されるわけです。最近の医療バッシングでは一方的に医療者側を非難する傾向があると思いますが、医療者側もリスクは避けて通りたいわけで、できれば痛みや危険を伴うことなどしたくないと思うのは至極当然の成り行きだと思います。ではなぜ今のような時代に敢えて危険を伴う行為を行うのか。結論は簡単です、患者さんたちに良くなってもらいたいからです。そう言う意味で、医療とは医療者側が患者さん側をリードしなければならない面もありますが、基本的には互いの共同作業です。例えるなら、峠道で離合しなければならない車同士が危険を承知し、少しずつ譲り合い離合を完成する風景に似ているかも知れません。痛くない注射もないし、リスクのない手術もない、副作用の全くない薬もありません。すべては必要度がリスクを上回っているからやっているわけです。患者さんの理解と覚悟の上で行っている治療に関しては、医師患者間で有害事象が生じた場合それを共有することができますが、そうでない場合、不満しか残りません。それは互いに不幸で不毛なことです。このことも是非理解しておいて欲しいと思います。

3. 病院は公器であるということ

最近医療をサービス業と同類に扱う傾向がありますが本当にそうでしょうか。みんなが利用するという意味では公園や公的施設に似て

いますし、暮らしを守るという意味では警察や消防にも似た要素があります。要は自分一人のものではないため大事に共用しなければならぬ空間であるということです。自分以外にも健康に不安を抱えた人達が周りにも沢山いるということです。そのことさえ知れば自ずと自分はどう行動すればよいかはわかって頂けると思います。これから益々ベッド数の削減が政策として行われるのはご存じの通りです。入院の患者さんでもある程度病状が落ち着けば退院し次の困った方たちに席を譲って頂くことも理解してもらえればと思います。

最近の医療情勢を見ていると、10年前の方がよほど良かったと思われること度々です。これは教育が荒廃する過程と酷似しています。学校という公器は、先生の権威が失墜し、最後には親が勝手な振る舞いを始めたということ。で今まで不文律として守られていた礼儀や規律が荒廃しその結果、その体をなさなくなっています。医療もまた同じ道を辿り、権利の名の下さまざまな変革が行われ、その結果一部の勘違いした心ない人々が医療に対し暴言を吐き、医療を壊している事態が各地で生じています。こんなことは決してこの門司では起こって欲しくないと切に祈っています。

以上3点をご理解の上でのご叱責は当然甘んじて受けなければなりません。どうぞ病院のためご発言下さい。

基本的に疾病の治療や療養というものはつらいものです。選択の幅はあるにしても、基本的にわがままが通用しない領域です。要するに我慢が必要です。しかしスタッフたちも目に見えぬいろんな我慢をしているのも事実です。皆が少しずつ我慢合って、些末的なことはさておき本当に大事なことを相互理解の下作り上げていき、その結果、住民はその病院を信頼し、病院はその信託に応えるべく住民の健康を守る、これこそが第三者の評価を受けるまでもなく理想とする病院像であると思います。

最後に、患者さんからのご意見箱はありますが、我々スタッフの思いを皆さんに伝えることはこんな形でしかできません。私が言うのも何ですが、当院は患者さんのことを心から考えている自慢のスタッフがそろっています。もし何か機会がありましたら“ありがとう”と書いてあげて下さい。励みになること請け合いです。これからの時代この病院が益々地域の皆さんに愛されていく病院になっていけるよう手を携えていければと心から思います。

ナウ& ネクスト

医療における、さまざまなホットな話題
およびネクストシーンを紹介するコーナー

オーダーリングシステム稼働!

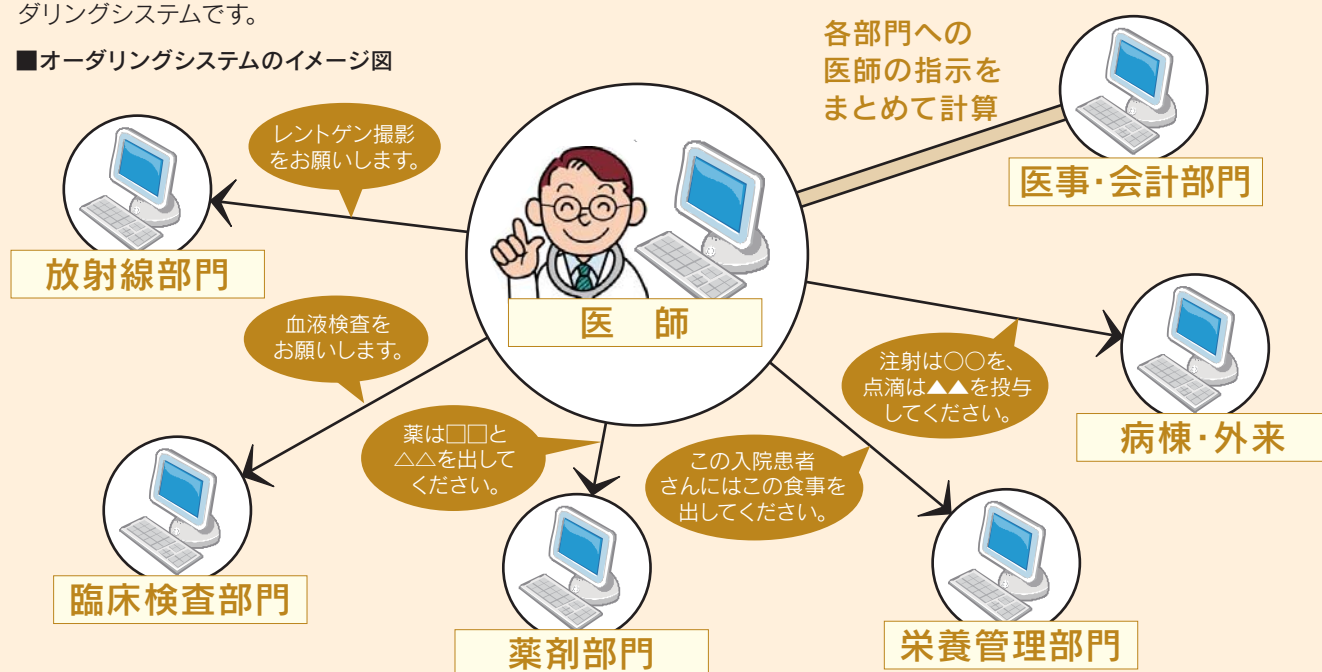
昨年から導入準備を進めてまいりましたオーダーリングシステムが、病棟では本年6月から、外来でも8月から稼働いたしました。今号ではオーダーリングシステムの内容と患者さんへのメリットをご紹介します。

Q1. オーダリングシステムって何？

病 院で行われる様々な検査や処方(例:注射をする、レントゲンを撮る、血液検査をする、薬を出すe.t.c)は、医師の指示のもと実施されます。この医師の指示(=オーダー)は、これまでは医師が紙に書き、薬局や検査部門は紙を受取り内容を確認して検査・処方を行っていました。

こうした医師の指示を紙に代わってコンピュータに入力することで、電子情報として各部門に瞬時に伝達するのがオーダーリングシステムです。

■オーダーリングシステムのイメージ図



Q2. オーダリングシステムの良いところは？

◎外来診療での患者さんの待ち時間が短縮されます!

オ ーダリングシステム導入により、検査や処方において医師の指示を紙でやりとりする手間がなくなり、各部門で瞬時に情報の伝達が可能となるため、薬の受け取りや会計での待ち時間が短くなりました。

◎情報の共有が進むことで医療安全に貢献します!

オ ーダリングシステムの特長の一つは、情報の共有ができることです。これにより、患者さんの基本情報や他の診療科での受診情報を参照することができ、その患者さんに投与してはならない薬剤がないかや、同じ効能の薬が他の科で処方されていないかなどがチェックできます。より安全で安心な処方が可能となりました。

Information JR九州病院からのお知らせ

旬の味だより ～この季節にピッタリの料理をご紹介～



鮭のきのことソースかけ

材料・1人分

鮭……………60g
塩……………0.3g
白ワイン……………10g
しいたけ……………10g
しめじ……………10g
たまねぎ……………10g
バター……………4g
生クリーム……………15g
味噌……………1.5g
黒こしょう……………少々
(付 け 合 せ)
さつまいも……………20g
ブロッコリー……………20g



【1人あたりの栄養成分】

カロリー……………234kcal
たん白質……………15.7g
塩分……………0.7g

作り方

- ① 鮭に塩と白ワインをふり、10分ほど置き、魚焼き機などで中までしっかり火を通し、表面に少し焦げ目がつくようにする。
- ② しいたけは石づきを取ってうすくスライスし、しめじも適当な大きさにほぐしておく。たまねぎもうすくスライスしておく。
- ③ バター2g(半分)をフライパンにいれ、たまねぎをしんなりするまで炒める。
- ④ しいたけ、しめじを加え、残りのバターをいれて炒める
- ⑤ 味噌を生クリームでのばしてから、④に入れ、最後に黒こしょうを入れる。
- ⑥ 焼いた鮭と、茹でたさつま芋・ブロッコリーを器に盛り、きのこソースをかける。

鮭ときのは相性ピッタリ!

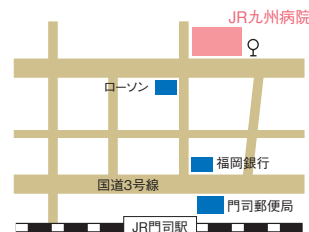
いつもの焼鮭を、香りの良いホワイトきのこソースで楽しんでみてください。

カロリーが気になる方は、和風ソースにかえても美味しいですよ。

JR九州病院 管理栄養士 佐伯 昌子



JR九州病院のご案内



〒800-0031 北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL 093-381-5661

FAX 093-381-1077

JR門司駅から徒歩5分/西鉄バス高田二丁目下車徒歩1分

JR九州病院 ホームページ

<http://www.jrkyushu-hospital.jp/>

【当院理念】

私たちJR九州病院は、
安全で良質な医療サービスの提供を通じて、
安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

編集後記 石井 佳人

暑い夏も終わり、涼しく過ごしやすい秋がやってまいりました。今年の夏は皆様どのようにご過ごされたでしょうか?

4年に1度の夏の祭典、「北京オリンピック」を見ていた方も多かったのではないのでしょうか。水泳、柔道、ソフトボールなど日本中にたくさんの感動を届けてくれました。

さて、今回は当院に新しく導入されたオーダーリングシステムを中心に掲載させていただきました。オーダーリングシステムが稼働したことで、医師の指示がネットワークを通じてすぐに各部門へ連絡されます。そのため、今までのように検査申込書や処方箋を患者さんに持って行っていただく必要がなくなり、検査や薬の待ち時間も短くなりました。いろいろな恩恵のあるオーダーリングシステムですが、皆様方におきましては疑問な点も多々あるかと思いますが、その際は、お気軽に「質問ください」。

これからも広報委員会「つばめ」は、充実した「想」、見やすい「想」の製作を目指してまいります。温かい目でご愛読の程よろしくお願い致します。

想(そう) 秋号(通巻10号)

平成20年11月1日発行(季刊)

発行人: 林田 一洋(JR九州病院 院長)

JR九州病院 広報委員会「つばめ」

副 院 長 亀井 隆史

事 務 長 梅田 純一

看 護 部 平 八重子 安成 康介

薬 剤 科 白江 泰代

中央放射線室 石井 佳人

リハビリテーション室 木部 竜也

中央検査室 有吉 大悟

総 務 課 吉田 利枝 吉原 健

医療連携室 谷川 浩司

発行: JR九州病院

北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL 093-381-5661

編集: 株式会社ジェイアール九州エージェンシー

印刷: 福岡印刷株式会社